

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

| | | | | | | | | | |
|--------|---------|-------|--------------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|
| シートNo. | 0461101 | 事務事業名 | GIGAスクール関連事業 | | 部・課・係 | 教育部 | 教育総務課 | 教育総務係 | |
| 事業No. | R020078 | 開始年度 | 令和元年度 | 終了予定年度 | 終了予定なし | 施策コード | P4013 | 作成責任者 | 教育総務課長 |

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|---|---|---------------------|--------------------|--------------------|-------|--------|--------------------|-----------------|---------|-------------------|-------------------|
| 事業の目的 | 1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現すること。また、災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においても、ICTの活用により全ての子どもたちの学びを保証できる環境を早急に実現すること。 | | | | | | | 予算額・執行額 (単位:千円) | 当初予算 | R03年度 | R04年度 | R04年度の主な収入内訳(名称等) |
| | 事業概要 | 市立小・中学校に在籍する児童生徒及び勤務する教職員が、インターネット等を活用した学習を円滑に行うことができるようハード整備を行い、その後の運用・管理を行う。 【主なハード整備】 ●市立小・中学校に高速大容量の通信ネットワークの整備・運用・管理 ●市立小・中学校に在籍する児童生徒1人1台タブレットPCの整備・運用・管理 ●タブレットPCの充電保管庫の整備・運用・管理 ●モバイルルーターの整備・運用・管理 | | | | | | | 補正予算 | 13,875 | 7,375 | |
| 根拠法令、関係計画、通知等 | | ・学校教育の情報化の推進に関する法律 ・子供たち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境の実現に向けて～令和時代のスタンダードとしての1人1台端末環境～<<文部科学大臣メッセージ>> ・(リフレット)GIGAスクール構想の実現へ | | | | | | | 前年度から繰越 | 39,797 | 10,890 | |
| | 活動目標及び活動実績1(アウトプット) | 活動目標 | 児童生徒1人1台タブレット端末の整備率 | 単位 | R03年度 | R04年度 | R05年度 | R06年度 | 前年度から繰越 | 0 | 5,349 | |
| 活動実績 | | % | | 100 | 100 | 活動見込 | 活動見込 | 翌年度へ繰越 | ▲ 5,349 | ▲ 1,199 | | |
| 活動目標及び活動実績2(アウトプット) | 活動目標 | 普通学級教室及び特別支援学級教室のWi-Fi環境整備率 | 単位 | R03年度 | R04年度 | R05年度 | R06年度 | 予備費等 | ▲ 3,389 | 2,238 | | |
| | 活動実績 | % | | 100 | 100 | 活動見込 | 活動見込 | 計 | 44,934 | 24,653 | | |
| 単位当たりコスト | 算出根拠 | | 単位 | R03年度 | R04年度 | | | 執行額 | 37,251 | 23,721 | | |
| | X:総費用(単位:円) / Y:児童生徒数(単位:人) ※令和3年5月1日時点 ※令和4年5月1日時点 | 計算式 | X/Y | 42,711,000 / 5,190 | 28,301,000 / 5,150 | | | 執行率(%) | 83% | 96% | | |
| 成果目標及び成果実績1(アウトカム) | 成果目標 | 令和4年度まで1.5 令和7年度まで1 | 単位 | R03年度 | R04年度 | 中間目標 | 目標最終年度 | 歳入予算 | R03年度 | R04年度 | R04年度の主な収入内訳(名称等) | |
| | 成果実績 | - | | 1.6 | 1.25 | R04年度 | R07年度 | 国庫支出金 | 34,448 | 13,477 | | |
| 成果目標及び成果実績2(アウトカム) | 成果目標 | 学校での端末使用頻度 (小学校6年生) | 目標値 | - | 2 | 1.5 | 2 | 1 | 県支出金 | 0 | | 0 |
| | 成果実績 | - | | 125 | 120 | - | - | - | 使用料・手数料 | 0 | | 0 |
| 補足説明 | (計算式)小学校の回答の合計数 / 小学校数 1. ほぼ毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 | | 達成度 | % | | | | - | 分担金・負担金等 | 0 | | 0 |
| | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | 端末利活用状況等の実態調査 | | | | | | 財産収入 | 0 | | 0 |
| 補足説明 | (計算式)中学校の回答の合計数 / 中学校数 1. ほぼ毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 | | | | | | | | 繰入金 | 10,486 | | 0 |
| | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | 端末利活用状況等の実態調査 | | | | | | 諸収入 | 0 | | 0 |
| 補足説明 | (計算式)中学校の回答の合計数 / 中学校数 1. ほぼ毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 | | | | | | | | 繰越金 | 0 | | 2,762 |
| | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | 端末利活用状況等の実態調査 | | | | | | 地方債 | 0 | | 0 |
| 補足説明 | (計算式)中学校の回答の合計数 / 中学校数 1. ほぼ毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 | | | | | | | | 一般財源 | 0 | 8,414 | |
| | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | 端末利活用状況等の実態調査 | | | | | | 計 | 44,934 | 24,653 | |
| 補足説明 | (計算式)中学校の回答の合計数 / 中学校数 1. ほぼ毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 | | | | | | | | 歳出予算 | R03年度 | R04年度 | R04年度の主な用途 |
| | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | 端末利活用状況等の実態調査 | | | | | | 需用費 | 3,024 | 1,900 | |
| 補足説明 | (計算式)中学校の回答の合計数 / 中学校数 1. ほぼ毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 | | | | | | | | 委託料 | 26,841 | 13,915 | |
| | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | 端末利活用状況等の実態調査 | | | | | | 使用料及び賃借料 | 0 | 0 | |
| 補足説明 | (計算式)中学校の回答の合計数 / 中学校数 1. ほぼ毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 | | | | | | | | 備品購入費 | 13,824 | 7,548 | |
| | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | 端末利活用状況等の実態調査 | | | | | | 通信運搬費 | 440 | 528 | |
| 補足説明 | (計算式)中学校の回答の合計数 / 中学校数 1. ほぼ毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 | | | | | | | | 補償金 | 805 | 762 | |
| | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | 端末利活用状況等の実態調査 | | | | | | 計 | 44,934 | 24,653 | |
| 補足説明 | (計算式)中学校の回答の合計数 / 中学校数 1. ほぼ毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 | | | | | | | | 正職員 | 0.7 | 0.6 | |
| | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | 端末利活用状況等の実態調査 | | | | | | 再任用 | 0 | 0 | |
| 補足説明 | (計算式)中学校の回答の合計数 / 中学校数 1. ほぼ毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 | | | | | | | | 会計年度月額 | 0.1 | 0.05 | |
| | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | 端末利活用状況等の実態調査 | | | | | | 会計年度日額 | 0 | 0 | |
| 補足説明 | (計算式)中学校の回答の合計数 / 中学校数 1. ほぼ毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 | | | | | | | | 計 | 0.80 | 0.65 | |
| | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | 端末利活用状況等の実態調査 | | | | | | 人件費合計(千円) | 5,460 | 4,580 | |
| 補足説明 | (計算式)中学校の回答の合計数 / 中学校数 1. ほぼ毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 | | | | | | | | 総費用(千円) | 42,711 | 28,301 | |
| | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | 端末利活用状況等の実態調査 | | | | | | 人件費等の修正(千円) | | | |
| 補足説明 | (計算式)中学校の回答の合計数 / 中学校数 1. ほぼ毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 | | | | | | | | 総費用(千円)※人件費等修正後 | 42,711 | 28,301 | |
| | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | 端末利活用状況等の実態調査 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--------|---------|-------|--------------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|
| シートNo. | 0461101 | 事務事業名 | GIGAスクール関連事業 | | 部・課・係 | 教育部 | 教育総務課 | 教育総務係 | |
| 事業No. | R020078 | 開始年度 | 令和元年度 | 終了予定年度 | 終了予定なし | 施策コード | P4013 | 作成責任者 | 教育総務課長 |

| 項目 | 令和4年度 事務事業担当課による点検・改善 | | <参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善 | |
|-----------------------------|---|--|--|----------|
| | 評価 | 評価に関する説明 | 評価 | 評価に関する説明 |
| 事業の必要性 | 事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。 | ○ 今や仕事でも家庭でも、社会のあらゆる場所でICTの活用が日常のものとなっている。Society5.0時代を生きる子供たちにとって、ICTを適切・安全に使いこなすことができるようネットリテラシーなどの情報活用能力を育成していくことは重要であるため、依然として社会的ニーズは高い。 | ○ 今や仕事でも家庭でも、社会のあらゆる場所でICTの活用が日常のものとなっている。Society5.0時代を生きる子供たちにとって、ICTを適切・安全に使いこなすことができるようネットリテラシーなどの情報活用能力を育成していくことは重要であるため、依然として社会的ニーズは高い。 | |
| | 地域、民間等に委ねることができない事業なのか。 | ○ GIGAスクール構想の事業主体は各地方自治体の学校設置者となっているため、学校設置者が整備する必要がある。 | ○ GIGAスクール構想の事業主体は各地方自治体の学校設置者となっているため、学校設置者が整備する必要がある。 | |
| | 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。 | ○ ICTの効果的な活用をはじめ、児童生徒への情報活用能力の育成と情報モラルを推進するには適切な事業であり、優先度が高い事業である。 | ○ ICTの効果的な活用をはじめ、児童生徒への情報活用能力の育成と情報モラルを推進するには適切な事業であり、優先度が高い事業である。 | |
| 事業の効率性 | 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。 | ○ これまで整備したGIGAスクールネットワーク及び、端末の追加整備を行った。契約の性質、目的から競争入札に適さないものであり、支出先の選定は妥当である。 | ○ 令和2年度に整備したGIGAスクールネットワーク及び、端末の追加整備を行った。契約の性質、目的から競争入札に適さないものであり、支出先の選定は妥当である。 | |
| | 競争性のない随意契約となったものはないか。 | 有 | 有 | |
| | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | - | - | |
| | 単位当たりコスト等の水準は妥当か。 | ○ これまで整備した際のコストと比較し、実施したため妥当である。 | ○ 令和2年度に契約した際のコストと比較し、実施したため妥当である。 | |
| | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | ○ GIGAスクール構想を実現するために必要なものに限定されている。 | ○ GIGAスクール構想を実現するために必要なものに限定されている。 | |
| | 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) | - | ○ タブレット端末の活用状況を踏まえ、費用をかけずに対応できるものは対応したことによる残額であり、問題はない。 | |
| | 繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) | - | ○ 国の令和3年度補正で計上された補助金であり、繰越すことに問題はない。 | |
| その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。 | ○ 費用をかけずに対応できるものは対応している。 | ○ 費用をかけずに対応できるものは対応している。 | | |
| 事業の有効性 | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | ○ 見込みに合っている。 | ○ 見込みに合っている。 | |
| | 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。 | - | - | |
| | 成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。 | ○ 見合ったものである。 | ○ 見合ったものである。 | |
| | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | ○ 学校に行った小学校6年生及び中学校3年生の利用調査では、「ほぼ毎日利用している」が11校、「週に数回利用している」が2校となり、十分に活用されている。 | ○ 学校に行った小学校6年生及び中学校3年生の利用調査では、「ほぼ毎日利用している」が7校、「週に数回利用している」が6校となり、十分に活用されている。 | |
| 関連事業 | 関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載) | ○ 人材の派遣やソフトウェアの選定、事業の推進業務を担っている。 | ○ 人材の派遣やソフトウェアの選定、事業の推進業務を担っている。 | |
| | 課名 | 学校教育課 | | |
| | 連番 | | | |
| | 事業名 | GIGAスクール構想事業 | | |
| 点検・改善結果 | 点検結果 | 昨年度に引き続き追加整備を行い、学校としては利便性が向上している。また、ICT支援員等の派遣による学校への支援も継続して行えた。端末利活用状況等の実態調査においても、「ほぼ毎日」の回答があった学校が増えており利活用は着実に進んでいる。 | 令和3年度から運用を開始した。追加整備を行い、学校としては利便性が向上している。ICT支援員等の派遣による学校への支援行えた。しかしながら、活用が進む中での課題がでてきており、ルールなどの見直しも必要になっている。また、ハードについても計画的に更新できるよう検討を行っていく。 | |
| | 改善の方向性 | 今以上に端末の利活用が進むよう必要な機器の整備、また、機器の更新に向けた具体的な検討を実施していく。 | 端末の利活用を促進するため、学校への情報提供、ICT支援員の派遣、ルールの見直し、追加の機器整備など、学校の要望等を聞きながら適宜対応を行っていく。 | |

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

| | | | | | | | | |
|--------|---------|-------|--------------------|--------|-------|-------|-------|--------|
| シートNo. | 0461102 | 事務事業名 | 小郡市教育施策実施計画作成・推進事業 | | 部・課・係 | 教育部 | 教育総務課 | 教育総務係 |
| 事業No. | R020077 | 開始年度 | 令和2年度 | 終了予定年度 | 施策コード | P401A | 作成責任者 | 教育総務課長 |

| | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|---|-----------------------------------|---------|-------|-------|----------------------------------|---------------|--------------------|-----------------|--------------|-------|------------|
| 事業の目的 | 「第2次小郡市教育振興基本計画」に掲載したそれぞれの具体的施策を効果的に推進していくため、各年度における施策の基本的なねらい、主な取組や事業、数値目標等を明確にして各教育施策を展開していく。 | | | | | | | 予算額・執行額 (単位:千円) | 当初予算 | R03年度 | R04年度 | |
| | 事業概要 | 前年度末に策定した実施計画を基に、令和4年度の教育施策を実施する。 | | | | | | | 予算状況 | | | |
| 根拠法令、関係計画、通知等 | | 教育基本法 | | | | | | | 執行額 | | | |
| | 活動目標及び活動実績1 (アウトプット) | 活動指標 | 実施計画の策定 | 活動実績 | 単位 | R03年度 | R04年度 | R05年度 活動見込 | R06年度 活動見込 | 歳入予算 | R03年度 | |
| 当初見込 | | | | 回 | 1 | 1 | | | 国庫支出金 | | | |
| 活動目標及び活動実績2 (アウトプット) | 活動指標 | | 活動実績 | 単位 | R03年度 | R04年度 | R05年度 活動見込 | R06年度 活動見込 | 県支出金 | | | |
| | | | 当初見込 | 回 | 1 | 1 | 1 | 1 | 使用料・手数料 | | | |
| 単位当たりコスト | 算出根拠 | | 単位 | R03年度 | R04年度 | X:総費用(単位:円)／ Y:対象者数(単位:推進計画数) | 計算式 | X/Y | 分担金・負担金等 | | | |
| | 成果目標 | 成果実績 | 単位 | R03年度 | R04年度 | | | | 中間目標 年度 | 目標最終年度 年度 | 財産収入 | |
| 成果目標及び成果実績1 (アウトカム) | 成果指標 | 目標値 | 達成度 | % | | | | | 繰入金 | | | |
| | 補足説明 | 定量的な目標が設定できない。 | | | | | | | 諸収入 | | | |
| 成果目標及び成果実績2 (アウトカム) | 成果指標 | 目標値 | 達成度 | % | | | | | 繰越金 | | | |
| | 補足説明 | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | | | | | | 地方債 | | | |
| | | | | | | | | | 一般財源 | | | |
| | | | | | | | | | 計 | 0 | 0 | |
| | | | | | | | | | 歳出予算 | R03年度 | R04年度 | R04年度の主な使途 |
| | | | | | | | | | 正職員 | 0.1 | 0.1 | |
| | | | | | | | | | 再任用 | 0 | 0 | |
| | | | | | | | | | 会計年度月額 | 0 | 0 | |
| | | | | | | | | | 会計年度日額 | 0 | 0 | |
| | | | | | | | | | 計 | 0.10 | 0.10 | |
| | | | | | | | | | 人件費合計(千円) | 740 | 740 | |
| | | | | | | | | | 総費用(千円) | 740 | 740 | |
| | | | | | | | | | 人件費等の修正(千円) | | | |
| | | | | | | | | | 総費用(千円)※人件費等修正後 | 740 | 740 | |

| | | | | | | | |
|--------|---------|-------|--------------------|--------|-------|-------|--------|
| シートNo. | 0461102 | 事務事業名 | 小郡市教育施策実施計画作成・推進事業 | 部・課・係 | 教育部 | 教育総務課 | 教育総務係 |
| 事業No. | R020077 | 開始年度 | 令和2年度 | 終了予定年度 | | 作成責任者 | 教育総務課長 |
| | | | | | 施策コード | P401A | 2/2ページ |

| 項目 | 令和4年度 事務事業担当課による点検・改善 | | ＜参考＞令和3年度 事務事業担当課による点検・改善 | |
|---------|---|--|--|--|
| | 評価 | 評価に関する説明 | 評価 | 評価に関する説明 |
| 事業の必要性 | 事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。 | ○ 市民や社会のニーズを反映した計画を策定している | ○ | 市民や社会のニーズを反映した計画を策定している |
| | 地域、民間等に委ねることができない事業なのか。 | ○ 教育に関する基本計画の推進については、地域、民間等に委ねることは適当ではない | ○ | 教育に関する基本計画の推進については、地域、民間等に委ねることは適当ではない |
| | 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。 | ○ 教育の振興のために必要かつ適切な事業である | ○ | 教育の振興のために必要かつ適切な事業である |
| 事業の効率性 | 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 | - | - | |
| | 一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。 | | | |
| | 競争性のない随意契約となったものはないか。 | | | |
| | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | - | - | |
| | 単当たりコスト等の水準は妥当か。 | - | - | |
| | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | - | - | |
| | 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載） | - | - | |
| 事業の有効性 | 繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載） | - | - | |
| | その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。 | - | - | |
| | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | ○ 当初の予定通り進行している | ○ | 当初の予定通り進行している |
| | 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。 | - | - | |
| 関連事業 | 成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。 | - | - | |
| | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | ○ 策定した実施計画を基に事業を実施している | ○ | 策定した実施計画を基に事業を実施している |
| | 関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載） | - | - | |
| 課名 | | | | |
| 連番 | | | | |
| 事業名 | | | | |
| 点検・改善結果 | 点検結果 | 教育振興基本計画を基に実施計画を策定し、教育大綱に掲げる理念の実現に向けた、各種施策を実施することができた。 | 教育振興基本計画を基に実施計画を策定し、教育大綱に掲げる理念の実現に向けた、各種施策を実施することができた。 | |
| | 改善の方向性 | 今後も毎年度点検・評価を行いながら事業を実施していく | 今後も毎年度点検・評価を行いながら事業を実施していく | |

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

| | | | | | | | | | |
|--------|---------|-------|--------------------|--------|--|-------|-----------|-------|--------|
| シートNo. | 0461103 | 事務事業名 | 第2次小郡市教育振興基本計画推進事業 | | | 部・課・係 | 教育部 教育総務課 | | 教育総務係 |
| 事業No. | R020075 | 開始年度 | 平成28年度 | 終了予定年度 | | 施策コード | P401A | 作成責任者 | 教育総務課長 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------------------|--|----------------|-----|-----|-------|-------|---------------|------------------|---------------------------------|----------|---------|------------------------|------|--|
| 事業の目的 | 小郡市の教育行政を推進する基本的な方針となる「小郡市教育大綱」に示された理念の実現と、教育振興に関する施策の総合的・計画的な推進を図るための基本計画を推進する。 | | | | | | | | 予算額・ 執行額 (単位:千円) | R03年度 | | R04年度 | | |
| 事業概要 | 重点項目達成のための主要施策を実施するため、毎年度「小郡市教育施策実施計画」を策定する。 | | | | | | | | | 予算 状況 | 当初予算 | | | |
| | | | | | | | | | | | 補正予算 | | | |
| 根拠法令、 関係計画、 通知等 | 教育基本法 | | | | | | | | | 執行額 | | | | |
| | | | | | | | | | | | 前年度から繰越 | | | |
| | | | | | | | | | | 翌年度へ繰越 | | | | |
| | | | | | | | | | 予備費等 | | | | | |
| 活動目標及び 活動実績1 (アウトプット) | 活動指標 | 実施計画の策定 | | 単位 | R03年度 | R04年度 | R05年度 活動見込 | R06年度 活動見込 | 執行率(%) | | 0 | 0 | | |
| | | 活動実績 | 回 | | 1 | 1 | | | | | | | | |
| 当初見込 | | 回 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | |
| 活動目標及び 活動実績2 (アウトプット) | 活動指標 | | | 単位 | R03年度 | R04年度 | R05年度 活動見込 | R06年度 活動見込 | 歳入予算 | R03年度 | R04年度 | R04年度の主な収入内訳(名称等) | | |
| | | 活動実績 | | | | | | | | | | | | |
| 当初見込 | | | | | | | | | | | | | | |
| 単当たり コスト | 算出根拠 | | | 単位 | R03年度 | R04年度 | / | | | | | | | |
| | X:総費用(単位:円) / Y:対象者数(単位:推進計画数) | | 計算式 | | 千円 | | | | | | | | | |
| 成果目標及び 成果実績1 (アウトカム) | 成果目標 | | | 単位 | R03年度 | R04年度 | 中間目標 年度 | 目標最終年度 R02 年度 | 歳出予算 | R03年度 | R04年度 | R04年度の主な使途 | | |
| | 成果実績 | | | | | | | | | | | | | |
| | 成果指標 | | | 目標値 | | | | | | | | | | |
| | 達成度 | % | | | | | | | | | | | | |
| 補足説明 | | 定量的な目標が設定できない。 | | | | | | | | | | | | |
| 根拠として用いた 統計・データ名(出典) | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果目標及び 成果実績2 (アウトカム) | 成果目標 | | | 単位 | R03年度 | R04年度 | 中間目標 年度 | 目標最終年度 年度 | 計 | 0 | 0 | 投入工数 (単位:人) | | |
| | 成果実績 | | | | | | | | | 正職員 | 0.05 | | 0.05 | |
| | 成果指標 | | | 目標値 | | | | | 再任用 | 0 | 0 | | | |
| | 達成度 | % | | | | | | | 会計年度月額 | 0 | 0 | | | |
| 補足説明 | | | | | | | | | | | | | | |
| 根拠として用いた 統計・データ名(出典) | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 会計年度日額 | 0 | 0 | | | | |
| | | | | | | | | 計 | 0.05 | 0.05 | | | | |
| | | | | | | | | 人件費合計(千円) | 370 | 370 | | | | |
| | | | | | | | | 総費用(千円) | 370 | 370 | | | | |
| | | | | | | | | 人件費等の修正(千円) | | | | | | |
| | | | | | | | | 総費用(千円)※人件費等修正後 | 370 | 370 | | | | |

| | | | | | | | |
|--------|---------|-------|--------------------|--------|-----|-------|--------|
| シートNo. | 0461103 | 事務事業名 | 第2次小郡市教育振興基本計画推進事業 | 部・課・係 | 教育部 | 教育総務課 | 教育総務係 |
| 事業No. | R020075 | 開始年度 | 平成28年度 | 終了予定年度 | | 施策コード | P401A |
| | | | | | | 作成責任者 | 教育総務課長 |

| 項目 | 令和4年度 事務事業担当課による点検・改善 | | ＜参考＞令和3年度 事務事業担当課による点検・改善 | |
|---------|---|--|--|----------|
| | 評価 | 評価に関する説明 | 評価 | 評価に関する説明 |
| 事業の必要性 | 事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。 | ○ 市民や社会のニーズを反映した計画を策定している | ○ 市民や社会のニーズを反映した計画を策定している | |
| | 地域、民間等に委ねることができない事業なのか。 | ○ 教育に関する基本計画の推進については、地域、民間等に委ねることは適当ではない | ○ 教育に関する基本計画の推進については、地域、民間等に委ねることは適当ではない | |
| | 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。 | ○ 教育の振興のために必要かつ適切な事業である | ○ 教育の振興のために必要かつ適切な事業である | |
| 事業の効率性 | 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 | - | - | |
| | 一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。 | | | |
| | 競争性のない随意契約となったものはないか。 | | | |
| | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | - | - | |
| | 単位当たりコスト等の水準は妥当か。 | - | - | |
| | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | - | - | |
| | 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載） | - | - | |
| 事業の有効性 | 繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載） | - | - | |
| | その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。 | - | - | |
| | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | ○ 当初の予定通り進行している | ○ 当初の予定通り進行している | |
| | 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。 | - | - | |
| 関連事業 | 成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。 | - | - | |
| | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | ○ 策定した基本計画を基に事業を実施している | ○ 策定した基本計画を基に事業を実施している | |
| | 関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載） | - | - | |
| 課名 | | | | |
| 連番 | | | | |
| 事業名 | | | | |
| 点検・改善結果 | 点検結果 | 教育振興基本計画を基に実施計画を策定し、教育大綱に掲げる理念の実現に向けた、各種施策を実施することができた。 | 教育振興基本計画を基に実施計画を策定し、教育大綱に掲げる理念の実現に向けた、各種施策を実施することができた。 | |
| | 改善の方向性 | 今後も毎年度点検・評価を行いながら事業を実施していく | 今後も毎年度点検・評価を行いながら事業を実施していく | |

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

| | | | | | | | | |
|--------|---------|-------|----------------|--------|-------|-------|-------|--------|
| シートNo. | 0461104 | 事務事業名 | 第2次小郡市教育大綱推進事業 | | 部・課・係 | 教育部 | 教育総務課 | 教育総務係 |
| 事業No. | R020073 | 開始年度 | 平成28年度 | 終了予定年度 | 施策コード | P401A | 作成責任者 | 教育総務課長 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|---|--|---------|-------|---------|------------|---------------|---------------|--------------------|-----------------|-------|-------------------|-------------------|-------------------|-------|------------|
| 事業の目的 | 小郡市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めた小郡市教育大綱を推進する。 | | | | | | | | 予算額・執行額 (単位:千円) | 当初予算 | R03年度 | R04年度 | R04年度の主な収入内訳(名称等) | | | |
| | 事業概要 | 重点項目達成のための主要施策を実施するため、毎年度「小郡市教育施策実施計画」を策定する。 | | | | | | | | 補正予算 | | | | | | |
| 根拠法令、関係計画、通知等 | | 教育基本法 | | | | | | | | 前年度から繰越 | | | | 執行率(%) | | |
| | 活動目標及び活動実績1(アウトプット) | 活動指標 | 実施計画の策定 | 活動実績 | 単位 | R03年度 | R04年度 | R05年度 活動見込 | R06年度 活動見込 | 翌年度へ繰越 | | | | | 歳入予算 | R03年度 |
| 当初見込 | | | | 回 | 1 | 1 | 1 | 1 | 計 | 0 | 0 | | | | | |
| 活動目標及び活動実績2(アウトプット) | 活動指標 | 算出根拠 | 活動実績 | 単位 | R03年度 | R04年度 | R05年度 活動見込 | R06年度 活動見込 | 予備費等 | | | 歳入内訳 | | R04年度の主な収入内訳(名称等) | | |
| | | | 当初見込 | | | | | | 国庫支出金 | | | | | | | |
| 単当たりコスト | 算出根拠 | X:総費用(単位:円) / Y:対象者数(単位:推進計画数) | 単当たりコスト | 単位 | R03年度 | R04年度 | | | 分担金・負担金等 | | | 歳入内訳 | | R04年度の主な収入内訳(名称等) | | |
| | | | 計算式 | X/Y | 370 / 1 | 370 / 1 | 財産収入 | | | | | | | | | |
| 成果目標及び成果実績1(アウトカム) | 成果目標 | 成果実績 | 単位 | R03年度 | R04年度 | 中間目標 年度 | 目標最終年度 年度 | 繰入金 | | | 歳入内訳 | R04年度の主な収入内訳(名称等) | | | | |
| | 成果指標 | 目標値 | 達成度 | % | | | | 繰越金 | | | | | | | | |
| 成果目標及び成果実績2(アウトカム) | 補足説明 | 定量的な目標が設定できない。 | | | | | | | | 地方債 | | | 歳入内訳 | R04年度の主な収入内訳(名称等) | | |
| | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | | | | | | | | 一般財源 | | | | | | |
| 成果目標及び成果実績2(アウトカム) | 補足説明 | | | | | | | | | 計 | 0 | 0 | 歳出予算 | R03年度 | R04年度 | R04年度の主な使途 |
| | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | | | | | | | | 正職員 | 0.05 | 0.05 | | | | |
| 成果目標及び成果実績2(アウトカム) | 補足説明 | | | | | | | | | 再任用 | 0 | 0 | 投入工数 (単位:人) | | | R04年度の主な使途 |
| | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | | | | | | | | 会計年度月額 | 0 | 0 | | | | |
| 成果目標及び成果実績2(アウトカム) | 補足説明 | | | | | | | | | 会計年度日額 | 0 | 0 | 投入工数 (単位:人) | | | R04年度の主な使途 |
| | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | | | | | | | | 計 | 0.05 | 0.05 | | | | |
| 成果目標及び成果実績2(アウトカム) | 補足説明 | | | | | | | | | 人件費合計(千円) | 370 | 370 | 投入工数 (単位:人) | | | R04年度の主な使途 |
| | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | | | | | | | | 総費用(千円) | 370 | 370 | | | | |
| 成果目標及び成果実績2(アウトカム) | 補足説明 | | | | | | | | | 人件費等の修正(千円) | | | 投入工数 (単位:人) | | | R04年度の主な使途 |
| | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | | | | | | | | 総費用(千円)※人件費等修正後 | 370 | 370 | | | | |

| | | | | | | | | |
|--------|---------|-------|----------------|--------|-------|-------|-------|--------|
| シートNo. | 0461104 | 事務事業名 | 第2次小郡市教育大綱推進事業 | | 部・課・係 | 教育部 | 教育総務課 | 教育総務係 |
| 事業No. | R020073 | 開始年度 | 平成28年度 | 終了予定年度 | 施策コード | P401A | 作成責任者 | 教育総務課長 |

| 項目 | 令和4年度 事務事業担当課による点検・改善 | | <参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善 | |
|---------|---|------------------------------------|---------------------------|------------------------------------|
| | 評価 | 評価に関する説明 | 評価 | 評価に関する説明 |
| 事業の必要性 | 事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。 | ○ 市民や社会のニーズを反映した計画を策定している | ○ | 市民や社会のニーズを反映した計画を策定している |
| | 地域、民間等に委ねることができない事業なのか。 | ○ 教育大綱の推進については、地域、民間等に委ねることは適当ではない | ○ | 教育大綱の推進については、地域、民間等に委ねることは適当ではない |
| | 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。 | ○ 教育の振興のために必要かつ適切な事業である | ○ | 教育の振興のために必要かつ適切な事業である |
| 事業の効率性 | 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。 | - | - | |
| | 競争性のない随意契約となったものはないか。 | - | - | |
| | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | - | - | |
| | 単位当たりコスト等の水準は妥当か。 | - | - | |
| | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | - | - | |
| | 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載） | - | - | |
| | 繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載） | - | - | |
| 事業の有効性 | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | - 当初の予定通り進行している | - | 当初の予定通り進行している |
| | 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。 | - | - | |
| | 成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。 | ○ 当初の予定通り進行している | ○ | 当初の予定通り進行している |
| | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | ○ 策定した基本計画を基に事業を実施している | ○ | 策定した基本計画を基に事業を実施している |
| 関連事業 | 関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載） | - | - | |
| | 課名 | | | |
| | 連番 | | | |
| | 事業名 | | | |
| 点検・改善結果 | 点検結果 | 教育大綱に掲げる理念の実現に向けた、各種施策を実施することができた。 | | 教育大綱に掲げる理念の実現に向けた、各種施策を実施することができた。 |
| | 改善の方向性 | 今後も毎年度点検・評価を行いながら事業を実施していく | | 今後も毎年度点検・評価を行いながら事業を実施していく |

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

| | | | | | | | | |
|--------|---------|-------|----------|--------|-------|-------|-------|--------|
| シートNo. | 0461201 | 事務事業名 | 学校空調設置事業 | | 部・課・係 | 教育部 | 教育総務課 | 施設係 |
| 事業No. | J004226 | 開始年度 | 平成26年度 | 終了予定年度 | 施策コード | P4019 | 作成責任者 | 教育総務課長 |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------------|---|---|------------|---------|---------|-------|------------|------------------|--------------------|-----------------|--------|--------|-------------------|--------|--------|
| 事業の目的 | 近年、夏季の猛暑による熱中症等が問題となっており、教育環境の改善が求められている。普通教室や特別教室に空調を設置することにより、安全で快適な教育環境の確保を図る。 | | | | | | | | 予算額・執行額 (単位:千円) | 当初予算 | R03年度 | R04年度 | R04年度の主な収入内訳(名称等) | | |
| | 事業概要 | 小中学校の普通教室、特別教室に空調を設置するための工事を行う。(空調機設置工事、空調配管工事、電気設備工事等。古くなった空調設備の更新を含む。) | | | | | | | | 予算状況 | 11,201 | 17,323 | | | |
| 根拠法令、関係計画、通知等 | | | | | | | | | | 前年度から繰越 | 11,200 | | | 執行額 | 19,891 |
| | 活動目標及び活動実績1 (アウトプット) | 活動目標 | 空調を設置した教室数 | | 単位 | R03年度 | R04年度 | R05年度 活動見込 | R06年度 活動見込 | 翌年度へ繰越 | | | | | 予備費等 |
| 活動目標及び活動実績2 (アウトプット) | | 活動目標 | | | 単位 | R03年度 | R04年度 | R05年度 活動見込 | R06年度 活動見込 | 計 | 22,401 | 17,323 | | 執行率(%) | 89% |
| | 単位当たりコスト | 算出根拠 | | | 単位 | R03年度 | R04年度 | | | | | | | | |
| X:総費用(単位:円)/ Y:空調を設置した教室数(単位:室) | | 単位当たりコスト | 円 | 1,808.0 | 1,685.0 | | | | | | | | | | |
| 成果目標及び成果実績1 (アウトカム) | 成果目標 | 空調を設置した教室数(R1~R3) | | 単位 | R03年度 | R04年度 | 中間目標 年度 | 目標最終年度 R03 年度 | | | | | | | |
| | 成果指標 | 空調を設置した教室数 | 成果実績 | 室 | 53 | 59 | - | - | | | | | | | |
| | 補足説明 | 令和3年度で空調設置事業は完了予定だったが、令和4年度においても特別支援学級の増設や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用に伴い、空調設置工事を行った。 | | | | | | | | | | | | | |
| | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果目標及び成果実績2 (アウトカム) | 成果目標 | | 成果実績 | 室 | 45 | 45 | - | 45 | | | | | | | |
| | 成果指標 | | 目標値 | 室 | 45 | 45 | - | 45 | | | | | | | |
| | 補足説明 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | 歳入予算 | R03年度 | R04年度 | R04年度の主な収入内訳(名称等) | | |
| | | | | | | | | | | 国庫支出金 | 14,563 | 6,923 | | | |
| | | | | | | | | | | 県支出金 | | | | | |
| | | | | | | | | | | 使用料・手数料 | | | | | |
| | | | | | | | | | | 分担金・負担金等 | | | | | |
| | | | | | | | | | | 財産収入 | | | | | |
| | | | | | | | | | | 繰入金 | | | | | |
| | | | | | | | | | | 諸収入 | | | | | |
| | | | | | | | | | | 繰越金 | | | | | |
| | | | | | | | | | | 地方債 | 7,800 | 7,800 | | | |
| | | | | | | | | | | 一般財源 | 38 | 2,600 | | | |
| | | | | | | | | | | 計 | 22,401 | 17,323 | | | |
| | | | | | | | | | | 歳出予算 | R03年度 | R04年度 | R04年度の主な使途 | | |
| | | | | | | | | | | 工事請負費 | 22,401 | 17,323 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | 計 | 22,401 | 17,323 | | | |
| | | | | | | | | | | 投入工数 (単位:人) | | | | | |
| | | | | | | | | | | 正職員 | 0.1 | 0.1 | | | |
| | | | | | | | | | | 再任用 | 0 | 0 | | | |
| | | | | | | | | | | 会計年度月額 | 0 | 0 | | | |
| | | | | | | | | | | 会計年度日額 | 0 | 0 | | | |
| | | | | | | | | | | 計 | 0.10 | 0.10 | | | |
| | | | | | | | | | | 人件費合計(千円) | 740 | 740 | | | |
| | | | | | | | | | | 総費用(千円) | 20,631 | 10,854 | | | |
| | | | | | | | | | | 人件費等の修正(千円) | | | | | |
| | | | | | | | | | | 総費用(千円)※人件費等修正後 | 20,631 | 10,854 | | | |

| | | | | | | | |
|--------|---------|-------|----------|--------|-------|-------|--------|
| シートNo. | 0461201 | 事務事業名 | 学校空調設置事業 | 部・課・係 | 教育部 | 教育総務課 | 施設係 |
| 事業No. | J004226 | 開始年度 | 平成26年度 | 終了予定年度 | | 作成責任者 | 教育総務課長 |
| | | | | 施策コード | P4019 | | 2/2ページ |

| 項目 | 令和4年度 事務事業担当課による点検・改善 | | ＜参考＞令和3年度 事務事業担当課による点検・改善 | |
|---------|---|---|--|----------|
| | 評価 | 評価に関する説明 | 評価 | 評価に関する説明 |
| 事業の必要性 | 事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。 | ○ 小郡小の特別支援学級の増設に伴う空調更新、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施したのぞみ小の特別支援学級教室への空調増設、古くなった多目的ホール及び保健室の空調更新を行った。いずれも学校のニーズに対応するための事業である。 | ○ 普通教室、特別教室への空調設置は完了していたが、学校施設環境改善交付金及び新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、多目的ホール等への空調設置を行うことで、広い部屋を授業で活用できるようになり、新型コロナウイルス感染症対策としても有効な事業である。 | |
| | 地域、民間等に委ねることができない事業なのか。 | ○ 工事の発注業務を行う必要があり、市が施設の管理者として実施する必要がある。 | ○ 工事の発注業務を行う必要があり、市が施設の管理者として実施する必要がある。 | |
| | 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。 | ○ 児童生徒の健康管理に関わる事業であり、安全な教育環境を確保するため、優先度は高い。 | ○ 児童生徒の健康管理に関わる事業であり、コロナウイルス感染症対策としても有効な事業であるため、優先度は高い。 | |
| 事業の効率的性 | 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 | ○ 指名競争入札により競争性が確保されている。 | ○ 指名競争入札により競争性が確保されている。 | |
| | 一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。 | 無 | 無 | |
| | 競争性のない随意契約となったものはないか。 | 無 | 無 | |
| | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | - | - | |
| | 単位当たりコスト等の水準は妥当か。 | ○ 教室の容積によって空調機の能力が変わるため、1教室あたりのコストで一概に判断はできないが、指名競争入札により契約しており、妥当なコストである。 | ○ 教室の容積によって空調機の能力が変わるため、1教室あたりのコストで一概に判断はできないが、指名競争入札により契約しており、妥当なコストである。 | |
| | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | ○ 学校からの要望を聞き取りながら、必要性を考慮して設置箇所を決定している。 | ○ 学校からの要望を聞き取りながら、必要性を考慮して設置箇所を決定している。 | |
| | 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載） | ○ 小郡小の特別支援学級空調更新工事において、予算額が教室改修分も含んだ予算額となっているため、不用率が大きくなっている。 | | |
| 事業の有効性 | 繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載） | - | ○ 国庫補助金について、国の補正予算で採択されたほうが財源が有利となるため、前倒して補正予算に計上し、繰り越して工事を行っている。 | |
| | その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。 | ○ 新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金の活用により、市の負担を削減している。 | ○ 学校施設環境改善交付金及び新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、市の負担を削減している。また、大原小と東野小については、令和2年度補正予算に前倒して、財政的に有利な補正予算を活用している。 | |
| | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | ○ 新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金の活用により、当初の予定よりも多い教室に空調設置を行うことができた。 | ○ 新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金の活用により、当初の予定よりも多い教室に空調設置を行うことができた。 | |
| | 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。 | - | - | |
| 関連事業 | 成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。 | ○ | ○ | |
| | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | ○ 児童生徒により、日常的に活用されており、快適な教育環境を確保することができている。 | ○ 児童生徒により、日常的に活用されており、快適な教育環境を確保することができている。 | |
| 点検・改善結果 | 点検結果 | 令和4年度は、小郡小の特別支援学級増設に伴い、空調更新工事を行った。また、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、のぞみ小から要望が出ていた空調が効きにくい特別支援学級教室への空調増設、老朽化した多目的ホール及び保健室の空調更新工事を行うことができた。このことにより、安全で快適な教育環境の確保を図ることができた。 | 令和3年度は、学校施設環境改善交付金及び新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、以前から要望が出ていた東野小学校の多目的ホールの他、大原小、三國中、大原中、小郡中の空調未設置室に空調設置工事を行うことができた。このことにより、多目的ホール等を授業等にさらに活用できるようになり、児童生徒の教育環境の向上を図ることができた。 | |
| | 改善の方向性 | 空調設備の新設については、一通り完了したが、本事業より以前から設置していた管理諸室の空調機が多数更新時期を迎えており、今後空調機の更新も検討していく必要がある。 | 空調設備の新設については、一通り完了したが、本事業より以前から設置していた管理諸室の空調機が多数更新時期を迎えており、今後空調機の更新も検討していく必要がある。 | |

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

| | | | | | | | | | |
|--------|---------|-------|-------------------------------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|
| シートNo. | 0461202 | 事務事業名 | 教育部施設整備計画及び設計・施工監督(教務課外より受託分) | | 部・課・係 | 教育部 | 教育総務課 | 施設係 | |
| 事業No. | J000965 | 開始年度 | 不明 | 終了予定年度 | 終了予定なし | 施策コード | P401A | 作成責任者 | 教育総務課長 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|--|---|----------------------|------|-------|-------|------------|--------------------|-----------------|---------------|-------------------|------------|--|
| 事業の目的 | 学校施設と同様に、教育部所管施設(運動公園、市体育館、生涯学習センター、文化会館等)も築年数が経過し、老朽化が進んでいる。教育部所管施設の改修等の整備を行うことにより、安全性の確保及び施設の利用環境の向上を図る。 | | | | | | | 予算額・執行額 (単位:千円) | 当初予算 | R03年度 | R04年度 | | |
| | 事業概要 | 教育部所管施設(運動公園、生涯学習センター、市体育館、文化会館等)の改修等の工事を行う必要が生じた場合に、施設の所管課からの依頼を受け、工事内容を確認し、工事の発注から完成までの業務を行う。 | | | | | | | 補正予算 | | | | |
| 根拠法令、関係計画、通知等 | | | | | | | | | 予算内訳 (単位:千円) | 前年度から繰越 | | | |
| | 活動目標及び活動実績1 (アウトプット) | 活動指標 | 教育部所管施設の改修等の工事を行った件数 | 活動実績 | 件 | R03年度 | R04年度 | R05年度 活動見込 | | R06年度 活動見込 | 翌年度へ繰越 | | |
| 活動目標及び活動実績2 (アウトプット) | | 活動指標 | | 活動実績 | | | | | | 予備費等 | | | |
| | 単位当たりコスト | 算出根拠 | | 単位 | R03年度 | R04年度 | | | 計 | 0 | 0 | | |
| 成果目標及び成果実績1 (アウトカム) | | 成果目標 | | 単位 | R03年度 | R04年度 | 中間目標 年度 | 目標最終年度 年度 | 執行額 | | | | |
| | 成果指標 | | 成果実績 | | | | | 執行率(%) | | | | | |
| 成果目標及び成果実績2 (アウトカム) | 成果目標 | | 目標値 | | | | | 歳入予算 | R03年度 | R04年度 | R04年度の主な収入内訳(名称等) | | |
| | 成果指標 | | 達成度 | % | | | | 歳出予算 | R03年度 | R04年度 | | | |
| 補足説明 | | 教育部施設整備計画及び設計・施工監督については、工事の種類や規模が多岐にわたるため、単価や件数などの定量的な目標が設定できない。 | | | | | | | 計 | 0 | 0 | R04年度の主な用途 | |
| 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | | | | | | | | 正職員 | 0.5 | 0.5 | | |
| 補足説明 | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | | | | | | 再任用 | 0.25 | 0.25 | | | |
| | | | | | | | | 会計年度月額 | 0 | 0 | | | |
| 補足説明 | | | | | | | | | 会計年度日額 | 0 | 0 | | |
| 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | | | | | | | | 計 | 0.75 | 0.75 | | |
| | | | | | | | | | 人件費合計(千円) | 4,800 | 4,800 | | |
| | | | | | | | | | 総費用(千円) | 4,800 | 4,800 | | |
| | | | | | | | | | 人件費等の修正(千円) | | | | |
| | | | | | | | | | 総費用(千円)※人件費等修正後 | 4,800 | 4,800 | | |

| | | | | | | | |
|--------|---------|-------|-------------------------------|--------|--------|-------|--------|
| シートNo. | 0461202 | 事務事業名 | 教育部施設整備計画及び設計・施工監督(教務課外より受託分) | 部・課・係 | 教育部 | 教育総務課 | 施設係 |
| 事業No. | J000965 | 開始年度 | 不明 | 終了予定年度 | 終了予定なし | 作成責任者 | 教育総務課長 |
| | | | | | | 策コード | P401A |
| 2/2ページ | | | | | | | |

| 項目 | 令和4年度 事務事業担当課による点検・改善 | | ＜参考＞令和3年度 事務事業担当課による点検・改善 | |
|------------------------------|---|--|--|----------|
| | 評価 | 評価に関する説明 | 評価 | 評価に関する説明 |
| 事業の必要性 | 事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。 | ○ 教育部所管施設(運動公園、生涯学習センター、市体育館、文化会館等)は市民の利用が多い施設であり、その改修等の工事については、市民のニーズが高い。 | ○ 教育部所管施設(運動公園、生涯学習センター、市体育館、文化会館等)は市民の利用が多い施設であり、その改修等の工事については、市民のニーズが高い。 | |
| | 地域、民間等に委ねることができない事業なのか。 | ○ 工事の内容や方法、工期等について施設所管課と十分に協議する必要がある。また、工事の発注業務を行う必要があり、市として実施するべきである。 | ○ 工事の内容や方法、工期等について施設所管課と十分に協議する必要がある。また、工事の発注業務を行う必要があり、市として実施するべきである。 | |
| | 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。 | ○ 市民の利用が多い施設であり、優先度は高い。 | ○ 市民の利用が多い施設であり、優先度は高い。 | |
| 事業の効率性 | 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 | ○ 指名競争入札により競争性が確保されている。 | ○ 指名競争入札により競争性が確保されている。 | |
| | 一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。 | 無 | 無 | |
| | 競争性のない随意契約となったものはないか。 | 無 | 無 | |
| | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | | | |
| | 単位当たりコスト等の水準は妥当か。 | - 予算は施設所管課の予算であり、教育総務課の予算ではない。 | - 予算は施設所管課の予算であり、教育総務課の予算ではない。 | |
| | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | ○ 教育部施設所管課からの依頼により、実施している。 | ○ 教育部施設所管課からの依頼により、実施している。 | |
| | 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) | - | - | |
| 繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) | - | - | | |
| その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。 | △ | △ | | |
| 事業の有効性 | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | ○ 当初の予定通り実施した。 | △ 当初予定していたスポーツ振興課所管の工事2件が、諸事情により修繕での実施に変更となったため、当初の見込みよりも実績が少なくなっている。 | |
| | 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。 | - | - | |
| | 成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。 | - | - | |
| | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | ○ 施設を利用している市民により、日常的に活用されている。 | ○ 施設を利用している市民により、日常的に活用されている。 | |
| 関連事業 | 関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載) | | | |
| | 課名 | | | |
| | 連番 | | | |
| 点検・改善結果 | 点検結果 | 本事業の実施により、教育部所管施設の利便性、快適性の向上を確保できている。教育部所管施設については、築年数が経過し、老朽化が進んでいるため、今後も所管課からの依頼に応じて事業を実施する必要がある。 | 本事業の実施により、教育部所管施設の利便性、快適性の向上を確保できている。教育部所管施設については、築年数が経過し、老朽化が進んでいるため、今後も所管課からの依頼に応じて事業を実施する必要がある。 | |
| | 改善の方向性 | 今後も施設所管課からの依頼に応じて、工事箇所等の確認を行い、所管課と十分に協議しながら事業を実施する。 | 今後も施設所管課からの依頼に応じて、工事箇所等の確認を行い、所管課と十分に協議しながら事業を実施する。 | |

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

| | | | | | | | | | |
|--------|---------|-------|------------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|
| シートNo. | 0461203 | 事務事業名 | 校舎・体育館整備事業 | | 部・課・係 | 教育部 | 教育総務課 | 施設係 | |
| 事業No. | J001103 | 開始年度 | 不明 | 終了予定年度 | 終了予定なし | 施策コード | P4019 | 作成責任者 | 教育総務課長 |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|---|---|---------------------|-------|-------|-------|---------|--------------------|--------|---------|-----------|-------------------|---------|--------|-------------------|
| 事業の目的 | 学校施設のうち約7割が建築後30年を経過するなど老朽化が進んでいる。必要に応じ、改修や改築を行うことにより、児童生徒の安全確保及び教育環境の維持を図る。また、児童生徒の増加等により教室が不足する場合は、必要に応じて校舎の増築を行い、教育環境の確保を図る。 | | | | | | | 予算額・執行額 (単位:千円) | 当初予算 | R03年度 | R04年度 | R04年度の主な収入内訳(名称等) | | | |
| | 事業概要 | 老朽化した校舎や体育館について、小郡市立学校施設長寿命化計画に基づき、必要箇所の改修や改築を行う。また、児童生徒の増加等により教室が不足する場合は、必要に応じて校舎の増築を行う。 | | | | | | | 予算状況 | 13,000 | 210,865 | | | | |
| 根拠法令、関係計画、通知等 | | 小郡市立学校施設長寿命化計画 | | | | | | | 補正予算 | 40,994 | 71,555 | | | | |
| | 活動目標及び活動実績1(アウトプット) | 活動目標 | 改修、改築、増築等の工事を実施した件数 | 活動実績 | 件 | R03年度 | R04年度 | R05年度 | R06年度 | 前年度から繰越 | 84,472 | | | | |
| 当初見込 | | | 件 | | | 2 | | | 翌年度へ繰越 | | ▲ 188,928 | | | | |
| 活動目標及び活動実績2(アウトプット) | 活動目標 | | 活動実績 | | | | | | 予備費等 | | 291 | | | | |
| | 当初見込 | | | | | | | | 計 | 138,466 | 93,783 | | | | |
| 単位当たりコスト | 算出根拠 | | | 単位 | R03年度 | R04年度 | 執行額 | | | | | | | | |
| | 単位当たりコスト | | - | | | | 125,705 | | | | | | | | |
| 成果目標及び成果実績1(アウトカム) | 成果目標 | | 単位 | R03年度 | R04年度 | 中間目標 | 目標最終年度 | 執行率(%) | | | | | | | |
| | 成果実績 | | | | | 年度 | 年度 | 91% | | | | | | | |
| 成果目標及び成果実績2(アウトカム) | 成果目標 | | 単位 | R03年度 | R04年度 | 中間目標 | 目標最終年度 | 95% | | | | | | | |
| | 成果実績 | | | | | 年度 | 年度 | 歳入予算 | | | | | | | |
| 補足説明 | 校舎・体育館整備事業については、工事の種類や規模が多岐にわたるため、単価や件数などの定量的な目標が設定できない。 | | | | | | | 歳入予算 | | | | | R03年度 | R04年度 | R04年度の主な収入内訳(名称等) |
| | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | | | | | | 計 | | | | | 138,466 | 93,783 | |
| 補足説明 | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | | | | | | 歳出予算 | | | | | R03年度 | R04年度 | R04年度の主な使途 |
| | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | | | | | | 計 | | | | | 138,466 | 93,783 | |
| 補足説明 | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | | | | | | 役員費 | | | | | | 572 | |
| | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | | | | | | 委託料 | | | | | 9,500 | 12,603 | |
| 補足説明 | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | | | | | | 工事請負費 | | | | | 128,794 | 80,608 | |
| | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | | | | | | 需用費 | | | | | 172 | | |
| 補足説明 | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | | | | | | 計 | | | | | 0.6 | 0.6 | |
| | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | | | | | | 再任用 | | | | | 0.05 | 0.05 | |
| 補足説明 | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | | | | | | 会計年度月額 | | | | | 0 | 0 | |
| | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | | | | | | 会計年度日額 | | | | | 0 | 0 | |
| 補足説明 | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | | | | | | 計 | | | | | 0.65 | 0.65 | |
| | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | | | | | | 人件費合計(千円) | | | | | 4,660 | 4,660 | |
| 補足説明 | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | | | | | | 総費用(千円) | | | | | 130,365 | 93,849 | |
| | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | | | | | | 人件費等の修正(千円) | | | | | | | |
| 補足説明 | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | | | | | | 総費用(千円)※人件費等修正後 | | | | | 130,365 | 93,849 | |

| | | | | | | | |
|--------|---------|-------|------------|--------|--------|--------|--------|
| シートNo. | 0461203 | 事務事業名 | 校舎・体育館整備事業 | 部・課・係 | 教育部 | 教育総務課 | 施設係 |
| 事業No. | J001103 | 開始年度 | 不明 | 終了予定年度 | 終了予定なし | 作成責任者 | 教育総務課長 |
| | | | | | | 2/2ページ | |

| 項目 | 令和4年度 事務事業担当課による点検・改善 | | ＜参考＞令和3年度 事務事業担当課による点検・改善 | |
|--------------------------|---|--|---|----------|
| | 評価 | 評価に関する説明 | 評価 | 評価に関する説明 |
| 事業の必要性 | 事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。 | ○ インクルーシブ教育やバリアフリーの推進といった社会のニーズを反映し、大原小にエレベーターを設置した。また、特別支援学級増設に伴う教室改修工事や、安心して授業を受けられる教育環境を確保するためのプール目隠しフェンス設置工事を行い、学校のニーズを反映している。 | ○ 災害時に市民の避難所として活用されている小中学校体育館のトイレの洋式化、乾式化を行い、避難所の環境向上を図った。近年、大雨等の災害が多発しており、社会のニーズを反映していると考えている。 | |
| | 地域、民間等に委ねることができない事業なのか。 | ○ 工事の内容や方法、工期等について学校と十分に協議し、普段から学校施設の状況を把握しておく必要がある。また、工事の発注業務を行う必要があり、市として実施する必要がある。 | ○ 工事の内容や方法、工期等について学校と十分に協議し、普段から学校施設の状況を把握しておく必要がある。また、工事の発注業務を行う必要があり、市として実施する必要がある。 | |
| | 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。 | ○ 児童生徒の安全確保のため、優先度は高い。 | ○ 児童生徒の安全確保のため、優先度は高い。 | |
| 事業の効率的性 | 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 | ○ 指名競争入札により競争性が確保されている。 | ○ 指名競争入札により競争性が確保されている。 | |
| | 一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。 | 無 | 無 | |
| | 競争性のない随意契約となったものはないか。 | 無 | 無 | |
| | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | - | - | |
| | 単位当たりコスト等の水準は妥当か。 | - 工事の規模や種類が多岐にわたるため、単位当たりコストは算出できない。 | - 工事の規模や種類が多岐にわたるため、単位当たりコストは算出できない。 | |
| | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | ○ 限られた予算の中で、学校のニーズを聞き取りながら、優先度を考慮して事業を選定している。 | ○ 限られた予算の中で、学校のニーズを聞き取りながら、優先度を考慮して事業を選定している。 | |
| | 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) | - | - | |
| 事業の有効性 | 繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) | ○ 物価高騰により予算の増額補正が必要となり、当初の予定より工事発注の時期が遅くなったため、予算を繰り越して、令和4年度から令和5年度にかけて工事を行うこととなったため。 | ○ 国庫補助金について、国の補正予算で採択されたほうが財源が有利となるため、前倒しで補正予算に計上し、繰り越して工事を行っている。 | |
| | その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。 | ○ エレベーター設置においては、財政的に有利な地方債(緊防債)を活用している。 | ○ 国の動向を把握し、国が優先的に推進している事業を行うことで、優先的に補助採択されるようにしている。 | |
| | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | ○ 小郡市立学校施設長寿命化計画に基づいて実施している。 | ○ 小郡市立学校施設長寿命化計画に基づいて、実施計画に事業を計上し、計画通り実施するようにしている。 | |
| | 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。 | - | - | |
| 成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。 | - | - | | |
| 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | ○ 児童生徒や教職員、保護者、近隣住民等により、日常的に活用されている。 | ○ 児童生徒や教職員、近隣住民等により、日常的に活用されている。 | | |
| 関連事業 | 関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載) | | | |
| | 課名 | | | |
| | 連番 | | | |
| | 事業名 | | | |
| 点検・改善結果 | 点検結果 | 本事業の実施により、児童生徒の安全で快適な教育環境を確保を図っている。しかしながら、日々進行する学校施設の老朽化や、トイレの洋式化・バリアフリー化の推進などのニーズに対応するため、今後も事業を継続して実施していく必要がある。 | 本事業の実施により、児童生徒の安全で快適な教育環境を確保できている。しかしながら、老朽化が進行している学校施設が多数残っており、今後も計画的に事業を実施していく必要がある。 | |
| | 改善の方向性 | 老朽化対策を計画的に実施していくため、小郡市立学校施設長寿命化計画に基づいて、実施計画に事業を計上する。また、特別支援学級の増加及び35人学級の実施により教室が不足することが考えられるため、学級数に注意しておく必要がある。 | 老朽化対策を計画的に実施していくため、小郡市立学校施設長寿命化計画に基づいて、実施計画に事業を計上する。また、特別支援学級の増加及び35人学級の実施により教室が不足することが考えられるため、学級数に注意しておく必要がある。 | |

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

| | | | | | | | | | |
|--------|---------|-------|---------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|
| シートNo. | 0461204 | 事務事業名 | 大規模改造事業 | | 部・課・係 | 教育部 | 教育総務課 | 施設係 | |
| 事業No. | J001105 | 開始年度 | 平成12年度 | 終了予定年度 | 終了予定なし | 施策コード | P4019 | 作成責任者 | 教育総務課長 |

| | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|---|---|----------------|----------|------------|---------------|-----------------|--------------------|-----------------|----------|------------|-------------------|
| 事業の目的 | 学校施設のうち約7割が建築後30年を経過するなど老朽化が進んでいる。一方、学校に対するニーズは多様化しており、多様な学習内容や形態への対応、生活空間の快適化など、様々な配慮が求められている。こうした状況を踏まえ、児童生徒が安全で快適な学校生活が送れるよう、計画的に老朽化対策や質的整備を行い、建物の長寿命化を図る。 | | | | | | | 予算額・執行額 (単位:千円) | R03年度 | | R04年度 | R04年度の主な収入内訳(名称等) |
| | 事業概要 | 老朽化した校舎や体育館について、小郡市立学校施設長寿命化計画に基づき、棟ごとに大規模改造工事を行う。工事内容としては、外壁改修、屋上防水改修等の外部改修や、内装・建具等の内部改修、また、消防設備や給排水設備、電気設備等の設備改修や、必要に応じた配置変更、段差解消等のバリアフリー化、トイレ改修(洋式化、乾式化、バリアフリートイレの設置)等を行う。 | | | | | | | 予算内訳 (単位:千円) | 当初予算 | | |
| 根拠法令、関係計画、通知等 | | 小郡市立学校施設長寿命化計画 | | | | | | | | 歳入予算 | R03年度 | |
| | 活動目標及び活動実績1 (アウトプット) | 活動指標 | 大規模改造工事を実施した棟数 | 単位 | R03年度 | R04年度 | R05年度 活動見込 | R06年度 活動見込 | 国庫支出金 | | 85,531 | |
| 活動実績 | | | | | 棟 | 1 | - | | | 県支出金 | | |
| 活動目標及び活動実績2 (アウトプット) | 活動指標 | 大規模改造工事を実施した棟数 | 単位 | R03年度 | R04年度 | R05年度 活動見込 | R06年度 活動見込 | 使用料・手数料 | | | | |
| | | | | 活動実績 | 棟 | 1 | - | | | 分担金・負担金等 | | |
| 単位当たりコスト | 算出根拠 | | | 単位 | R03年度 | R04年度 | | 財産収入 | | | | |
| | X:総費用(単位:円)/ Y:改修面積(単位:m ²) | | | 単位当たりコスト | 円 | 167,326.0 | - | 繰入金 | | | | |
| 成果目標及び成果実績1 (アウトカム) | 成果目標 | 大規模改造工事を実施した棟数(R1~R10) 15棟 | 単位 | R03年度 | R04年度 | 中間目標 R05年度 | 目標最終年度 R10年度 | 諸収入 | | | | |
| | | | | 成果実績 | 棟 | 7 | 7 | - | - | 繰越金 | | |
| | 成果指標 | 大規模改造工事を実施した棟数 | 単位 | 目標値 | 棟 | - | - | 8 | 15 | 地方債 | 193,800 | 4,600 |
| | | | | 達成度 | % | 46 | 46 | - | - | 一般財源 | 2,253 | 1,560 |
| 補足説明 | | | | | | | 計 | 281,584 | 6,160 | | | |
| 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | | | | | | 投入工数 (単位:人) | 正職員 | 0.9 | 0.9 | R04年度の主な使途 | |
| 成果目標 | 大規模改造工事を実施した棟数 | 単位 | R03年度 | R04年度 | 中間目標 年度 | 目標最終年度 年度 | 再任用 | 0 | 0 | | | |
| | | | 成果実績 | 棟 | | | | | 会計年度月額 | 0 | | 0 |
| 成果指標 | 大規模改造工事を実施した棟数 | 単位 | 目標値 | 棟 | | | 会計年度日額 | 0 | 0 | | | |
| | | | 達成度 | % | | | 計 | 0.90 | 0.90 | | | |
| 補足説明 | | | | | | | 人件費合計(千円) | 6,660 | 6,660 | | | |
| 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | | | | | | 総費用(千円) | 269,195 | 12,820 | | | |
| | | | | | | | 人件費等の修正(千円) | | | | | |
| | | | | | | | 総費用(千円)※人件費等修正後 | 269,195 | 12,820 | | | |

| | | | | | | | | | |
|--------|---------|-------|---------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|
| シートNo. | 0461204 | 事務事業名 | 大規模改造事業 | | 部・課・係 | 教育部 | 教育総務課 | 施設係 | |
| 事業No. | J001105 | 開始年度 | 平成12年度 | 終了予定年度 | 終了予定なし | 施策コード | P4019 | 作成責任者 | 教育総務課長 |

| 項目 | 令和4年度 事務事業担当課による点検・改善 | | <参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善 | |
|---------|---|---|--|----------|
| | 評価 | 評価に関する説明 | 評価 | 評価に関する説明 |
| 事業の必要性 | 事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。 | ○ 学校施設は児童生徒や保護者、近隣住民など、多数の市民が利用している重要な施設であり、災害時の避難所にもなっているため、学校施設の老朽化対策は広く市民のニーズがある。 | ○ 学校施設は児童生徒や保護者、近隣住民など、多数の市民が利用している重要な施設であり、災害時の避難所にもなっているため、学校施設の老朽化対策は広く市民のニーズがある。 | |
| | 地域、民間等に委ねることができない事業なのか。 | ○ 工事の内容や方法、工期等について学校と十分に協議し、普段から学校施設の状況を把握しておく必要がある。また、工事の発注業務を行う必要があり、市として実施する必要がある。 | ○ 工事の内容や方法、工期等について学校と十分に協議し、普段から学校施設の状況を把握しておく必要がある。また、工事の発注業務を行う必要があり、市として実施する必要がある。 | |
| | 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。 | ○ 児童生徒の安全確保のため、優先度は高い。 | ○ 児童生徒の安全確保のため、優先度は高い。 | |
| 事業の効率的性 | 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 | ○ 指名競争入札により競争性が確保されている。 | ○ 指名競争入札により競争性が確保されている。 | |
| | 一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。 | 無 | 無 | |
| | 競争性のない随意契約となったものはないか。 | 無 | 無 | |
| | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | - | - | |
| | 単位当たりコスト等の水準は妥当か。 | ○ 国交省の積算基準に基づいて設計し、入札を行っているため、妥当である。 | ○ 国交省の積算基準に基づいて設計し、入札を行っているため、妥当である。 | |
| | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | ○ 学校施設の長寿命化を図るために必要な工事(躯体補修、設備改修等)に加え、バリアフリー化やトイレ改修など学校のニーズを聞き取りながら設計を行っている。 | ○ 学校施設の長寿命化を図るために必要な工事(躯体補修、設備改修等)に加え、バリアフリー化やトイレ改修など学校のニーズを聞き取りながら設計を行っている。 | |
| | 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) | - | - | |
| 事業の有効性 | 繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) | ○ 国庫補助金について、国の補正予算で採択されたほうが財源が有利となるため、前倒しで補正予算に計上し、繰り越して工事を行っている。 | ○ 国庫補助金について、国の補正予算で採択されたほうが財源が有利となるため、前倒しで補正予算に計上し、繰り越して工事を行っている。 | |
| | その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。 | ○ 棟毎に集中して工事を行うことで、効率化を図っている。また、国の動向を把握し、国が優先的に推進している事業を行うことで、優先的に補助採択されるようにしている。 | ○ 棟毎に集中して工事を行うことで、効率化を図っている。また、国の動向を把握し、国が優先的に推進している事業を行うことで、優先的に補助採択されるようにしている。 | |
| | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | ○ 小郡市立学校施設長寿命化計画に基づいて実施している。 | ○ 小郡市立学校施設長寿命化計画に基づいて、実施計画に事業を計上し、計画通り実施するようにしている。 | |
| | 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。 | - | - | |
| 関連事業 | 成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。 | ○ | ○ | |
| | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | ○ 児童生徒や教職員、保護者、近隣住民等により、日常的に活用されている。 | ○ 児童生徒や教職員、近隣住民等により、日常的に活用されている。 | |
| | 関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載) | | | |
| 点検・改善結果 | 点検結果 | 本事業の実施により、児童生徒の安全で快適な教育環境の確保を図っている。また、老朽化対策や質的整備を進めるとともに、建替え周期を延長する長寿命化を図り、施設整備にかかるコストを総合的に抑制していく必要がある。 | 本事業の実施により、児童生徒の安全で快適な教育環境を確保できている。しかしながら、老朽化が進行している学校施設が多数残っており、今後も計画的に事業を実施していく必要がある。 | |
| | 改善の方向性 | 老朽化対策を計画的に実施していくため、小郡市立学校施設長寿命化計画に基づいて、実施計画に事業を計上する。 | 老朽化対策を計画的に実施していくため、小郡市立学校施設長寿命化計画に基づいて、実施計画に事業を計上する。 | |

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

| | | | | | | | | | |
|--------|---------|-------|----------------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|
| シートNo. | 0461301 | 事務事業名 | 給食センター建設に関する事業 | | 部・課・係 | 教育部 | 教育総務課 | 学校給食係 | |
| 事業No. | J004191 | 開始年度 | 令和元年度 | 終了予定年度 | 令和8年度 | 施策コード | P5035 | 作成責任者 | 教育総務課長 |

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|--|--|-------------------------------------|---------|---------|---------------|---------------|--------------------|---------|-------|-------------|-------------------|
| 事業の目的 | 小郡市内5中学校に配食する給食調理を一括して行っている現学校給食センターは、築50年が経過し著しく老朽化が進み衛生管理基準上課題もあり給食献立が制限されている現状である。衛生管理基準に適合した安心安全な学校給食を提供するための新学校給食センター建設を行うもの。 | | | | | | | 予算額・執行額 (単位:千円) | 当初予算 | R03年度 | R04年度 | R04年度の主な収入内訳(名称等) |
| | 事業概要 | 新学校給食センターを早期に建設する。また、建設手法として「小郡市PPP/PFI導入指針」に基づき、学校給食施設整備について「簡易な検討」を実施し、その結果を受けた小郡市行政改革推進本部会議において、「詳細な検討(導入可能性調査)」に進み、PPP/PFIの活用について積極的に検討していくことが決定された。 | | | | | | | 補正予算 | | 11,349 | |
| 根拠法令、関係計画、通知等 | | 小郡市PPP/PFI導入指針 小郡市行政経営アクションプラン | | | | | | | 前年度から繰越 | 8,162 | | |
| | 活動目標及び活動実績1(アウトプット) | 活動目標 | 現給食センターが老朽化したため建て替えを行うための検討を行った会議回数 | 単位 | R03年度 | R04年度 | R05年度 活動見込 | R06年度 活動見込 | 翌年度へ繰越 | | | |
| 活動実績 | | 回 | 5 | 5 | | | 予備費等 | | | | | |
| 活動目標及び活動実績2(アウトプット) | 活動目標 | | 単位 | R03年度 | R04年度 | R05年度 活動見込 | R06年度 活動見込 | 計 | 8,162 | 2,990 | | |
| | 活動実績 | 回 | | | | | | 執行額 | 5,324 | 2,990 | | |
| 単位当たりコスト | 算出根拠 | | 単位 | R03年度 | R04年度 | | | 執行率(%) | 65% | 100% | | |
| | 職員の人件費を現給食センターの建て替えの為に検討を行った会議回数で割ったものである。 | 計算式 | X/Y | 4,050/5 | 3,680/5 | | | 歳入予算 | R03年度 | R04年度 | | |
| 成果目標及び成果実績1(アウトカム) | 成果目標 | 現給食センターが老朽化したため建て替えを行うための検討を行った会議回数を3回 | 単位 | R03年度 | R04年度 | 中間目標 年度 | 目標最終年度 | 歳入予算 | 8,162 | 2,990 | | |
| | 成果指標 | 現給食センターが老朽化したため建て替えを行うための検討を行った会議回数 | 目標値 | 回 | 5 | 5 | | 国庫支出金 | 8,162 | | | |
| 成果目標及び成果実績2(アウトカム) | 補足説明 | | 達成度 | % | 100 | 100 | | 県支出金 | | | | |
| | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | | | | | | 使用料・手数料 | | | | |
| 成果目標及び成果実績2(アウトカム) | 成果目標 | | 単位 | R03年度 | R04年度 | 中間目標 年度 | 目標最終年度 | 分担金・負担金等 | | | | |
| | 成果指標 | | 成果実績 | 回 | 5 | 5 | | 財産収入 | | | | |
| 成果目標及び成果実績2(アウトカム) | 補足説明 | | 目標値 | 回 | 5 | 5 | | 繰入金 | | 2,990 | まちづくり基金繰入金 | |
| | 根拠として用いた統計・データ名(出典) | | 達成度 | % | | | | 諸収入 | | | | |
| | | | | | | | | 繰越金 | | | | |
| | | | | | | | | 地方債 | | | | |
| | | | | | | | | 一般財源 | | | | |
| | | | | | | | | 計 | 8,162 | 2,990 | | |
| | | | | | | | | 歳出予算 | R03年度 | R04年度 | R04年度の主な使途 | |
| | | | | | | | | 委託料 | 8,162 | 2,990 | アドバイザー業務委託料 | |
| | | | | | | | | 正職員 | 0.25 | 0.2 | | |
| | | | | | | | | 再任用 | 0.5 | 0.5 | | |
| | | | | | | | | 会計年度月額 | 0 | | | |
| | | | | | | | | 会計年度日額 | 0 | | | |
| | | | | | | | | 計 | 0.75 | 0.70 | | |
| | | | | | | | | 人件費合計(千円) | 4,050 | 3,680 | | |
| | | | | | | | | 総費用(千円) | 9,374 | 6,670 | | |
| | | | | | | | | 人件費等の修正(千円) | | | | |
| | | | | | | | | 総費用(千円)※人件費等修正後 | 9,374 | 6,670 | | |

| | | | | | | | | | |
|--------|---------|-------|----------------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|
| シートNo. | 0461301 | 事務事業名 | 給食センター建設に関する事業 | | 部・課・係 | 教育部 | 教育総務課 | 学校給食係 | |
| 事業No. | J004191 | 開始年度 | 令和元年度 | 終了予定年度 | 令和8年度 | 施策コード | P5035 | 作成責任者 | 教育総務課長 |

| 項目 | 令和4年度 事務事業担当課による点検・改善 | | <参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善 | | |
|------------------------------|---|--|---|---|---|
| | 評価 | 評価に関する説明 | 評価 | 評価に関する説明 | |
| 事業の必要性 | 事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。 | ○ 現給食センターは老朽化が進んでおり、施設に起因する給食献立の制限もある。早急に施設を建て替え、安心・安全な学校給食の提供を維持することは市民や社会のニーズを反映したものである。 | ○ | 現給食センターは老朽化が進んでおり、施設に起因する給食献立の制限もある。早急に施設を建て替え、安心・安全な学校給食の提供を維持することは市民や社会のニーズを反映したものである。 | |
| | 地域、民間等に委ねることができない事業なのか。 | △ 給食センターの建設においては、PPP/PFIの活用を検討するための導入可能性調査を実施し、PFI方式が望ましいとの評価がでている。PFI方式による給食センター建設を行うにあたっては、市が、資料作成や企業選定などの準備対応を行う必要がある。 | △ | 給食センターの建設においては、PPP/PFIの活用を検討するための導入可能性調査を実施し、PFI方式が望ましいとの評価がでている。PFI方式による給食センター建設を行うにあたっては、市が、資料作成や企業選定などの準備対応を行う必要がある。 | |
| | 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。 | ○ 老朽化した給食センターの建て替えは、早急に対応すべき課題であり優先順位は高い。 | ○ | 老朽化した給食センターの建て替えは、早急に対応すべき課題であり優先順位は高い。 | |
| 事業の効率性 | 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 | ○ 令和4年度から令和6年度を実施期間として契約したアドバイザー業務委託については、6者を指名して、指名型プロポーザルを実施したが、結果1者のみの応募となった。しかし、業者選定については十分に期間を設けて実施しており、決定した業者は基準点を大きく超える評価を得ており、競争性は確保されている。 | ○ | 令和3年度に実施した導入可能性調査の業務委託については、指名競争入札で実施しており、競争性は確保されている。 | |
| | 一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応募又は一者応募となったものはないか。 | 有 | 無 | | |
| | 競争性のない随意契約となったものはないか。 | 無 | 無 | | |
| | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | - | - | | |
| | 単位当たりコスト等の水準は妥当か。 | - | - | | |
| | 費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | - | - | | |
| | 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) | - | ○ | 業者選定を入札で実施した際の落札額が想定よりも安かったことによるものであり妥当なものである。 | |
| 繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) | - | - | | | |
| その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。 | - | - | | | |
| 事業の有効性 | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | - | - | | |
| | 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。 | - | - | | |
| | 成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。 | - | - | | |
| | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | - | - | | |
| 関連事業 | 関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載) | ○ | PPP/PFI方式による給食センター整備運営事業を進めていくにあたり、教育総務課が実際の事業担当課として対応し、経営戦略課は、情報提供、事業推進にあたっての助言等を実施した。 | ○ | PPP/PFI方式による給食センター整備運営を検討するにあたり、教育総務課が実際の事業課として対応し、経営戦略課は、情報提供、内閣府への補助金申請等の後方支援を実施した。 |
| | 課名 | 経営戦略課 | | | |
| | 連番 | R010012 | | | |
| | 事業名 | 官民連携事業推進事業 | | | |
| 点検・改善結果 | 点検結果 | 令和3年度に実施した導入可能性調査の結果を踏まえて、本年度は今後の事業者選定等を進めるためのアドバイザー契約を実施し、事業者選定に向けた準備を開始した。 | | 現給食センターの建て替えにあたって、民間活力の活用を検討するために、導入可能性調査を実施し、その結果、PFI方式が望ましいとの調査結果が出ており、今後の建て替えに向けての方向性が見えてきた。 | |
| | 改善の方向性 | PFI方式による新給食センターの整備を、庁内連携を図りながら進めていく。 | | 導入可能性調査の結果を踏まえ、今後PFI方式による新給食センターの整備を進めていく。 | |

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

| | | | | | | | | | |
|--------|---------|-------|-------------------|--------|--------|-------|-------|--------|--------|
| シートNo. | 0461302 | 事務事業名 | 給食調理業務の民間委託に関する事業 | | 部・課・係 | 教育部 | 教育総務課 | 学校給食係 | |
| 事業No. | J004607 | 開始年度 | 令和2年度 | 終了予定年度 | 終了予定なし | 施策コード | P5022 | 作成責任者 | 教育総務課長 |
| | | | | | | | | 1/2ページ | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------------|---|--|---------------------|-------|-------|------------|---------------|------------------------|-----------------|---------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 事業の目的 | 自校式給食を実施している小学校において、給食調理業務の民間委託を行うことで、民間のノウハウによる運営コストの削減及びサービスの質の向上を図ることを目的とする。 | | | | | | | 予算額・ 執行額 (単位:千円) | 当初予算 | R03年度 | R04年度 | R04年度の主な収入内訳(名称等) | |
| | 事業概要 | 令和2年度までに小学校8校の自校式給食を開始し、そのうち小郡小学校、三国小学校、のぞみが丘小学校の3校において給食調理業務を民間業者に委託している。この実績を踏まえ、今後残り5校の学校給食調理業務も民間業者への委託を進めていく。 | | | | | | | 補正予算 | | | | |
| 根拠法令、 関係計画、 通知等 | | 学校給食法(昭和29年法律160号) 小郡市行政経営アクションプラン | | | | | | | 予算内訳 (単位:千円) | 前年度から繰越 | | | |
| | 活動目標及び 活動実績1 (アウトプット) | 活動指標 | 民間委託学校数 | 単位 | R03年度 | R04年度 | R05年度 活動見込 | R06年度 活動見込 | | 翌年度へ繰越 | | | |
| 活動目標及び 活動実績2 (アウトプット) | | 活動指標 | | 単位 | R03年度 | R04年度 | R05年度 活動見込 | R06年度 活動見込 | 予備費等 | | | | R04年度の主な収入内訳(名称等) |
| | 単位当たり コスト | 算出根拠 | | 単位 | R03年度 | R04年度 | | | 計 | 68,847 | 83,064 | | |
| 成果目標及び 成果実績1 (アウトカム) | | 成果目標 | 民間委託予定の全ての学校での民間委託化 | 単位 | R03年度 | R04年度 | 中間目標 5年度 | 目標最終年度 年度 | 執行額 | 68,847 | 83,064 | | R04年度の主な収入内訳(名称等) |
| | 成果指標 | 民間委託学校数 | 成果実績 | 学校数 | 3 | 4 | | 執行率(%) | 100% | 100% | | | |
| | 補足説明 | | 目標値 | 学校数 | 3 | 4 | | 歳入予算 | R03年度 | R04年度 | | | |
| | 根拠として用いた 統計・データ名(出典) | | 達成度 | % | 100 | 100 | | 国庫支出金 | | | R04年度の主な収入内訳(名称等) | | |
| 成果目標及び 成果実績2 (アウトカム) | 成果目標 | | 単位 | R03年度 | R04年度 | 中間目標 年度 | 目標最終年度 年度 | 県支出金 | | | | | |
| | 成果指標 | | 成果実績 | | | | | 使用料・手数料 | | | | | |
| | 補足説明 | | 目標値 | | | | | 分担金・負担金等 | | | | | |
| | 根拠として用いた 統計・データ名(出典) | | 達成度 | % | | | | 財産収入 | | | | | |
| | | | | | | | | 計 | 68,847 | 83,064 | | R04年度の主な収入内訳(名称等) | |
| | | | | | | | | 歳出予算 | R03年度 | R04年度 | | | R04年度の主な収入内訳(名称等) |
| | | | | | | | | 委託料 | 68,847 | 83,064 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 計 | 68,847 | 83,064 | | | |
| | | | | | | | | 投入工数 (単位:人) | | | | R04年度の主な収入内訳(名称等) | |
| | | | | | | | | 正職員 | 0.25 | 0.1 | | | |
| | | | | | | | | 再任用 | 0.5 | 0.3 | | | |
| | | | | | | | | 会計年度月額 | 0 | | | | |
| | | | | | | | | 会計年度日額 | 0 | | | | |
| | | | | | | | | 計 | 0.75 | 0.40 | | | |
| | | | | | | | | 人件費合計(千円) | 4,050 | 2,060 | | | |
| | | | | | | | | 総費用(千円) | 72,897 | 85,124 | | | |
| | | | | | | | | 人件費等の修正(千円) | | | | | |
| | | | | | | | | 総費用(千円)※人件費等修正後 | 72,897 | 85,124 | | | |

| | | | | | | | |
|--------|---------|-------|-------------------|--------|--------|--------|--------|
| シートNo. | 0461302 | 事務事業名 | 給食調理業務の民間委託に関する事業 | 部・課・係 | 教育部 | 教育総務課 | 学校給食係 |
| 事業No. | J004607 | 開始年度 | 令和2年度 | 終了予定年度 | 終了予定なし | 作成責任者 | 教育総務課長 |
| | | | | | | 2/2ページ | |

| 項目 | 令和4年度 事務事業担当課による点検・改善 | | ＜参考＞令和3年度 事務事業担当課による点検・改善 | |
|--------------------------------|---|--|---|----------|
| | 評価 | 評価に関する説明 | 評価 | 評価に関する説明 |
| 事業の必要性 | 事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。 | ○ 自校式給食による学校給食を実施していきなで、質の高いサービスをコスト削減を図りながら提供することは市民や社会のニーズを反映している。 | ○ 自校式給食による学校給食を実施していきなで、質の高いサービスをコスト削減を図りながら提供することは市民や社会のニーズを反映している。 | |
| | 地域、民間等に委ねることができない事業なのか。 | ○ 現在、計画的に民間委託を進めている。 | ○ 現在、計画的に民間委託を進めている。 | |
| | 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。 | ○ 市の財政状況が厳しい中で、質の高いサービスを維持していくためには民間のノウハウの活用は必要であり、自校式給食による学校給食を維持するためには優先度の高い事業である。 | ○ 市の財政状況が厳しい中で、質の高いサービスを維持していくためには民間のノウハウの活用は必要であり、自校式給食による学校給食を維持するためには優先度の高い事業である。 | |
| 事業の効率性 | 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 | ○ 民間委託の業者選定については、プロポーザルを実施しており、適正に選定している。 | ○ 民間委託の業者選定については、プロポーザルを実施しており、適正に選定している。 | |
| | 一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。 | 無 | 無 | |
| | 競争性のない随意契約となったものはないか。 | 無 | 無 | |
| | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | - | - | |
| 単位当たりコスト等の水準は妥当か。 | ○ 令和3年度より民間委託を開始した大原小学校についても、既存で実施している民間委託の費用と比較して妥当な額であり、妥当である | ○ 令和3年度は令和2年度と比較して単位当たりコストは増加しているが、これは令和4年度新規民間委託校の委託業者選定を行っていたことで人件費の増で、委託費用自体は変化はない | | |
| 費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | - | - | | |
| 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) | - | - | | |
| 繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) | - | - | | |
| その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。 | ○ プロポーザルの審査基準において、価格に対する評価について重点を置くことで、コスト削減を図っている。 | ○ プロポーザルによる業者選定において、提案内容だけでなく、費用額にも重点を置いて業者を選定することでコスト削減を図っている。 | | |
| 事業の有効性 | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | ○ 計画どおりに民間委託への移行が進められている。 | ○ 計画どおりに民間委託への移行が進められている。 | |
| | 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。 | ○ 業者選定時に、提案内容や費用額を審査して業者を決定することで、サービスの質の確保とコスト削減の両方を図ることができた。 | ○ 業者選定時に、提案内容や費用額を審査して業者を決定することで、サービスの質の確保とコスト削減の両方を図ることができた。 | |
| | 成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。 | ○ 計画どおりに民間委託への移行が進められている。 | ○ 計画どおりに民間委託への移行が進められている。 | |
| 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | ○ 民間委託後の学校給食についても安心・安全な学校給食の提供を実施できている。 | ○ 民間委託後の学校給食についても安心・安全な学校給食の提供を実施できている。 | | |
| 関連事業 | 関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載) | - | - | |
| | 課名 | | | |
| | 連番 | | | |
| 点検・改善結果 | 点検結果 | 令和4年度は、すでに民間委託を行っている小郡小学校、三国小学校、のぞみが丘小学校の契約更新と、令和5年度から新たに民間委託を開始する東野小学校の4校の事業者選定を実施した。令和5年度からは東野小学校が民間委託を開始し、小学校8校中5校の給食調理の民家委託が実施されることとなり、財政面においても効果が表れている。 | 令和3年度は、大原小学校の学校給食調理業務の民間委託のための業者選定を実施した。このため、令和4年度から大原小学校も民間委託による給食調理業務が開始した。民間委託の推進は順調に進んでおり、財政面においても効果が表れている。 | |
| | 改善の方向性 | 事業者選定については、価格だけの評価は難しいため引き続きプロポーザル方式による選定を行っていく必要があるが、契約期間については、現在の3年間から5年間の変更を検討する。 | 令和4年度は令和5年度民間委託開始予定に東野小学校の業者選定を実施する。実施に当たっては、今までの業者選定のノウハウを活用しながら、最適な業者の選定を行う。 | |